ブカレスト大学日本語学科の図書室

- 現状と将来プロジェクト -

Steluța Maxim
University of Bucharest

ブカレスト大学日本語学科の図書室
プロファイル

- 図書室設立 : 1975年
- ブカレスト大学日本語教育と日本研究 :
  - 学部
  - 修士課程 （東南アジア研究修士課程） 2006年
  - 博士課程 → 言語学と文学 （日本研究関連の論文）
  - ブカレスト大学日本研究センター 2010年

- ブカレスト大学日本語学科の図書室
  - 多様性（最近の図書寄贈 : ポップカルチャー、芸術、美術、現代社会学、経済、政治）
  - 全国での日本文学や文化の本数が最も多く
  - 原文の書籍

ブカレスト大学日本語学科(http://japoneza.lls.unibuc.ro/)学生数

- 学部(3年間):約180名
- 修士課程(2年間):約20名
- 博士課程(3年間):約4名

ブカレスト大学日本語学科の図書室→教室／図書室:3室

- マルチメディアラボ

ブカレスト大学日本語学科の図書室→教室／図書室:3室

- 原文資料の図書室

ブカレスト大学日本語学科の図書室→教室／図書室:3室

- 24号図書室

全書籍、4000冊以上

- アルバム（美術：浮世絵、近・現代の絵）
- 日本語教育関係（教科書、辞書など）
- 日本語で書かれた日本研究の書籍（文学）
  例：
    - 日本古典文学全集
    - 日本近代文学大系
    - 近代作家研究叢書
    - 新潮日本文学アルバム（写真で実証する作家の劇的な生涯）

全図書室、約4000冊

- 英語・フランス語・ルーマニア語で書かれた／翻訳された日本研究の書籍 （文学・言語学・人類学・歴史・翻訳・経済・政治）
- 例：
  - Kodansha Encyclopedia of Japan
  - Samuel Martin *“A Reference Grammar of Japanese”,* Natsuko Tsujimura *“An Introduction to Japanese Linguistics”*, Masayoshi Shibatani *“The Languages of Japan”*
  - Donald *Keene “Seeds in the Heart”*, *“Dawn to the West: Japanese Literature of the Modern Era “,* Jin’ichi Konishi *“A History of Japanese Literature”*
  - Ruth Benedict *“The Chrysanthemum and the Sword”,* Yoshio Sugimoto *“An Introduction to Japanese Society”*, Nakane Chie *“Japanese Society”,* Takeo Doi *“The Anatomy of Dependence”*, S.N. Eisenstadt *“Japanese Civilization: A Comparative View”*
  - (ed.) Rysaku Tsunoda, Theodore De Barry, Donald Keene *“Sources of Japanese Tradition”*, Marius B. Jansen *“The Making of Modern Japan”,* Peter Duus *“Modern Japan”*, Carol Gluck *“Japan`s Modern Myths. Ideology in the Late Meiji Period”*
  - Masao Maruyama *“Thought and Behavior in Modern Japanese Politics”*

図書室現状

- ブカレスト大学日本語学科の授業の種類によって

→ 文学・言語学・歴史・人類学・宗教が最も多く

→ 経済・政治は少数（約40冊）

- 改善：

現在：

- ➢経済・政治の書籍依頼を増やす
- ➢修士課程で政治や経済と関係あるテーマの増加

将来的に：

- ➢日本研究センターとの共催の講演会、経済・政治勉強会、政治アナリストの招待

図書寄贈

- 国際交流基金 1975年から現在まで
- 東京財団　2009年
  - 「私たちが薦める100冊プロジェクト」

その他:

- JICA寄付:約30冊
- 中央図書館:約50冊の日本美術のアルバム
- 卒業生・留学生の個人寄付:数冊

国際協力

- 将来に木簡についてのアルバムや資料（九州大学）
- 日本の大学との日本研究論文集の交換
- ブカレスト大学日本語学科の出版プロジェクト：
  - “Topics in Japanese Culture”
  - ブカレスト大学日本研究センターのシンポジウムの論文集
  - 日本文学からの翻訳プロジェクト

図書室運営

- デジタルカタログの作成（英語の資料400冊）

- 貸出記録票の交換

- イメールアドレスの作成
（biblioteca.sectiajaponeza@gmail.com)

→ 学生とのコミュニケーションの改良
→ 図書室担当者の仕事の効率上昇

学生を資料寄付プロジェクトに積極的に参加させた

ブカレスト大学日本研究センター

- Center for Japanese Studies, 2010年設立、http://csj.cc.unibuc.ro
- 図書室 : 2012年8月開場式
- 国際交流基金の第一回目の図書寄贈:
  - **書籍50冊**、(Takie Sugiyama Lebra *"Japanese Women: Constraint and Fulfillment"*, (ed.) Miyagawa Shigeru, Saito Mamoru *"The Oxford Handbook of Japanese Linguistics"* , Toby Slade *"Japanese Fashion: A Cultural History"* , Anne Wilkes Tucker *"The History of Japanese Photography"* , Asano Shugo *"Drama and Desire: Japanese Painting from the Floating World, 1690-1850"* , Peter Hill *"The Japanese Mafia: Yakuza, Law, And the State"* , Jeff Kingstone *"Contemporary Japan: History, Politics, and Social Change since the 1980s"* など)
  - **ビデオ10枚** (座頭市、タンポポ、トウキョウソナタ、雨あがる、ノルウェイの森、たそがれ清兵衛など)

学生と一般人の興味とアクセス

- 本屋で購入可能：ルーマニア語翻訳、主に文学（夏目漱石、森鴎外、川端康成、安部 公房、円地 文子,よしもと ばなな、村上春樹、村上龍など）

- 2011年9月14－15日「日本イラストと日本研究書籍の展覧会」 → 研究書籍の興味とアクセス依頼の増加 （現在アクセス不可能）

  - 「ピタル・モシュの図書室で眠れぬ夜を過ごしましょう！」や「日本の夜」などのプロジェクト

  - 2012年10月からブカレスト大学日本研究センターで週に一日の読書室の開始予定

特別なイベント

- 「ピタル・モシュの図書室で眠れぬ夜を過ごしましょう。2012年1月12～13日。」 →ブカレスト大学外国語学部の図書室が一晩開かれた
- 読書室
- 頭のスポーツ・遊び：碁と将棋
- 試験に出る本についての話し合いグループ
- ドキュメンタリー上映 (“Hiroshima” Paul Wilmshurst 監督、UK, 2005年など)

UNIVERSITATEA DIN BUCUREŞTI
FACULTATEA DE LIMBI ŞI LITERATURI STRĂINE

invită studenţii UB si FLLS, între 13 şi 14 ianuarie 2012,
orele 20.00-06.00
la

NOAPTEA ALBĂ A BIBLIOTECILOR ÎN PITAR MOŞ

ora 20.00: Deschidere
Săli de lectură
Cercuri de lectură
Proiecţii de documentare

「日本の夜」

- 現代日本についての講義、大使館の文化担当
- 漫画カフェー：漫画、本の読書室
- 日本語の授業体験、国際交流基金の教授
- 日本のコンサート、ドキュメンタリー、映画、アニメ上映 (”Can You See Our Lights? -First Festival after the Tsunami”など)
- 書道、着物、折り紙、碁、将棋のサークル
- 日本の踊り
- 写真・はがき展覧会

デジタルデータベース：“Anelis”という中央図書館のプロジェクト

- Oxford Journals, Cambridge Journals など

全ルーマニアの日本資料様子

将来のプロジェクト

- 図書室書籍の数増加
- 全書籍のデジタル目録の作成
- 一般人用の読書室を開く
- イベント開始（書籍の展覧会や紹介）
- 勉強会
- 他の図書館との交流を強める